

我が国における子宮および卵巣原発の悪性黒色腫の現状に関する

調査研究について (KCOG-G1701s)

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

子宮および卵巣原発の悪性黒色腫は非常に稀な疾患であり、その臨床像や適切な治療法が確立されていません。また皮膚の悪性黒色腫においては、近年注目されている免疫チェックポイント阻害剤の有用性が報告されています。そこで私たちは、子宮および卵巣原発の悪性黒色腫について多施設共同研究にて集積して、臨床像、治療法、予後を把握し、予後因子の検討を目的に本研究を計画しました。また PD-L1 や PD-1 の免疫組織化学的発現についても検討を加えます。

【対象】

1997年4月1日から2017年3月31日までの20年間に、子宮もしくは卵巣原発の悪性黒色腫と組織診断を受けた方。

【調査項目】

<患者背景因子>

年齢、部位、臨床進行期、Breslow 厚、TNM 進行期、既往歴、家族歴、腫瘍マーカー、組織型サブタイプ、AJCC 進行期

<治療関連因子>

初回治療、治療開始日、治療終了日

手術について：目的、術式、完遂度

化学療法について：術前、術後、目的、レジメン、コース数、治療効果判定

放射線療法について：目的、照射野、総線量、治療期間、治療効果判定

術前、初回及び術後同時化学放射線療法(照射野、照射方法、総線量、治療期間、

分子標的薬について：目的、レジメン

免疫チェックポイント阻害剤について：目的、レジメン

<免疫組織化学>

PD-L1 や PD-1 の免疫組織化学的発現

<転帰>

再発の有無、再発確認日、再発治療、生存の有無、最終生存確認日

【研究期間】

承認日～2018年12月31日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】

KCOG (Kansai Clinical Oncology Group 特定非営利活動法人 関西臨床腫瘍研究会)
参加施設および Intergroup (大分大学、埼玉医科大学国際医療センター、三重大学、
関西ろうさい病院、奈良県立医大、静岡がんセンター、京都府立医大、兵庫医大など)

【本研究に関する連絡先】

研究責任者：川名(かわな) 敬(けい)
連絡担当者：仲尾(なかお) 岳大(たけひろ)

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1
日本大学医学部 産婦人科
Tel: 03-3972-8111 内) 2520 Fax: 03-3972-9612

研究課題名: 我が国における子宮および卵巣原発の悪性黒色腫の現状に関する調査

研究参加施設一覧（順不同）
KCOG (Kansai Clinical Oncology Group・ 特定非営利活動法人 関西臨床腫瘍研究 会) 参加施設およびIntergroup
関西ろうさい病院
日生病院
奈良県西和医療センター
奈良県立医科大学
奈良県総合医療センター
兵庫医科大学
共済組合近畿中央病院
兵庫県立がんセンター
桑名総合医療センター
三重大学
市立四日市病院
名古屋医療センター
静岡県立静岡がんセンター
ミズソフィアクリニック
大阪医科大学
関西医科大学
滋賀医科大学
京都府立医科大学
京都第二赤十字病院
松下記念病院
大分大学
岐阜大学
名古屋市立大学
大阪市立総合医療センター
久留米大学
富山大学
富山市民病院
東北大学
大阪府立呼吸器アレルギー医療センター
千船病院
東京女子医大東医療センター
大阪大学
倉敷成人病センター
岩手医科大学
高知医療センター
高知大学
埼玉医科大学国際医療センター